第 4 節　外科研修

プログラムA において

一般目標

外科系疾患の診断力を養い、術前術後の管理を修得し、外科的患者に対し適切な外科処置を身につける。

具体的目標

1. 重要な検査の診断が可能になる。

① 胸部 X-P、腹部 X-P
② 腹部 CT 検査
③ 注腸造影

2. 基本的な外科的手技・処置

① 採血、注射、静脈確保、中心静脈カテーテル挿入、経鼻胃カテーテル挿入が可能になる。
② 創傷処置を修得する。
③ 手洗いができる。
④ 糸結び、抜糸、皮膚縫合などの外科的基本手技を経験する。

3. 重要な救急疾患を診断し、対応できるようになる。

① 嵌径ヘルニア嵌頓
② 虫垂炎
③ 胆石症
④ 胃十二指腸潰瘍
⑤ イレウス

4. 術前リスク評価が可能になる。

① 心肺機能
② 肝機能
③ 腎機能
④ 代謝内分泌機能
⑤ その他

5. 主要疾患の術後管理を経験する。

① ヘルニア根治術
② 虫垂切除術
③ 胆嚢摘出術
④ 胃切除術・結腸切除術
⑤ その他

6. その他

① 指導医の下、日常業務の修練に徹し、病棟その他の全ての変化に対し、初動医として対処できるようになる。

② カンファランスで症例の的確な提示と応答ができるようになる。

実臨床研修

① 術前・術後管理を中心とした入院患者の診療を行う。

② 手術症例の病歴、身体所見、検査結果をまとめ、手術に関連するリスクを評価し、術前カンファランスにてプレゼンテーションを行う。

③ 手術に参加し、皮膚縫合等の手技を行う。

研修評価

① ローテーション終了時に指導医が評価を行う。

② 自身が参加・執刀した手術症例を所定の方法にて記録し、指導医に報告する。

③ 中心静脈カテーテル挿入手技の習熟度を指導医が評価する。

プログラム B において（プログラムAの外科研修目標に、以下の点を加える。）

一般目標

出来るかぎり多くの手術に参加し、小手術の術者を経験する。

具体的目標

1. 重要な検査の実施や診断が可能になる。

① 腹部超音波検査の実施と診断

② 食道・胃・十二指腸造影検査の診断

2. 基本的な外科的手技・処置を修得する。

① 胸・腹腔穿刺、中心静脈カテーテル挿入などを修得する。

3. 重要な救急疾患を理解、診断できる。

① 急性腹症

4. 主要疾患の術後管理を修得する。

① 肛門疾患に対する手術

② 食道切除術

③ 肝切除術

④ 膵切除術

5. 手術

① 小手術の術者を経験する。

6. その他

① 外科的疾患や手術症例に対する学術的な検討方法を修得する。

実臨床研修

① 術前・術後管理を中心とした入院患者の診療を行う。
② 手術症例の病歴、身体所見、検査結果をまとめ、手術に関連するリスクを評価し、術前カンファランスにてプレゼンテーションを行う。
③ 手術に参加し、皮膚縫合等の手技を行う。
④ 手術症例についてまとめ、文献検索や学会発表の方法を学ぶ。

研修評価

① ローテーション終了時に指導医が評価を行う。
② 自身が参加・執刀した手術症例を所定の方法にて記録し、指導医に報告する。
③ 中心静脈カテーテル挿入手技の習熟度を指導医が評価する。
④ 学会にて発表し、指導医が評価する。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	（土）	（日）
午前	朝カンファ 手術 病棟業務	手術 病棟業務	朝カンファ 手術 病棟業務	朝カンファ 手術 病棟業務	朝カンファ 手術 病棟業務		
午後	手術 病棟業務 術前カンファ	手術 病棟業務 部長回診 術後カンファ	手術 病棟業務	手術 病棟業務	手術 病棟業務		

第 9 節　外　科 〔選択科向け研修〕

プログラム B の外科研修目標に、以下の点を加える。

一般目標

できるかぎり多くの手術に参加し、外科専門医取得にあたって必要な症例数をできるだけ多く経験する。

具体的目標

1. **手術**
   - ①　２年次には、虫垂切除、その他の小手術の術者となる。
2. **その他**
   - ①　２年次には、病棟回診当番として病棟の処置を確実に行うことができるようになると同時に、緊急事態への対応ができるようになる。
   - ②　主要悪性疾患（胃癌、大腸癌）の術前総合診断が可能となり、予定術式の立案が可能となる。
   - ③　学会発表や論文執筆等の学術的探究への理解を深める。

実臨床研修

- ①　術前・術後管理を中心とした入院患者の診療を主体的に行う。
- ②　手術症例の病歴、身体所見、検査結果をまとめ、手術に関連するリスクを評価し、手術計画を立案して術前カンファランスにてプレゼンテーションを行う。
- ③　指導医が選定した症例において術者として執刀し、当該症例の手術記録を記載し、術後カンファランスにてプレゼンテーションする。
- ④　外科的疾患や症例についての学会発表に携わる。

研修評価

① ローテーション終了時に指導医が評価を行う。

② 自身が参加・執刀した手術症例を所定の方法にて記録し、指導医に報告する。

③ 学会にて発表し、指導医が評価する。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	（土）	（日）
午前	朝カンファ 手術 病棟業務	手術 病棟業務	朝カンファ 手術 病棟業務	朝カンファ 手術 病棟業務	朝カンファ 手術 病棟業務		
午後	手術 病棟業務 術前カンファ	手術 病棟業務 部長回診 術後カンファ	手術 病棟業務	手術 病棟業務	手術 病棟業務		